動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話（鉄電）千葉 2935・2939番
（公）043（222）7207番
98.10.2 No. 4854

正念場を迎えた国鉄闘争の勝利と、時代を変革する闘う労働運動の本格的な発展をめざして、「大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉」を創りあげよう！

大会報告No.3

中野委員長総括答弁（要約）

この一〇年間の大会発言内容を比べてみると、近年際立って多いのは業務上の問題だ。これは分割・民営化以降、列車を安全に動かすという能力・技術が破壊されつくされてしまった結果だ。中央線の正常運行率は約五〇％をきっている。プロジェクトチームをつくっても、台風がきたらすぐ止まる。臨時にダイヤを組むとき旅客には貨物列車の認識がない。当局はこうした技術力がないまま指導・養成をしているから、これがそのまま引き継がれてしまう状況だ。安全輸送よりも、労使癒着の職場支配優先できた結果だ。こうした構造を打破しなければならない。貨物会社の矛盾もここにある。動労千葉はこれらをトータルに捉えて闘ってきた。成田、勝浦、佐倉の廃止のときもこれに耐えぬいてしまったから、いま敵の側の矛盾として爆発している。ＪＲ総連革マル体制に楔を打ち込むのが要だ。敵のなかにも矛盾がふきあれている。組織拡大のチャンスがきている。この秋は分岐のときだ。断固闘おう。

大会で決定された7つの課題

① 最大の正念場に入った1047名の解雇撤回闘争の勝利に向けて組織の総力をあげて起ちあがろう。5･28判決という大反動攻撃と真正面から対決する確固とした闘いの路線・方針を確立し、5･28判決弾劾の大運動をまき起こそう。

② 大幅賃上げ獲得－貨物格差回答粉砕に向けて、大失業時代にたち向かう新たな春闘の再構築をめざし、99春闘に全力で起ちあがろう。

③ 恒常的なストライキ体制を堅持して、一切の組織破壊攻撃をはね返し強制配転された仲間たちの原職復帰実現・不当労働行為根絶、ＪＲ結託体制打倒の闘いに組織の総力をあげて起ちあがろう。
第三波ストライキで、何としても強制配転者の原職復帰に向けた風穴をあけよう。

④ 分割・民営化政策の破たんを背景とした新たな大合理化攻撃と対決し60歳まで働ける労働条件と運転保安の確立、奪われた労働条件と権利を奪い返すために、反合・運転保安闘争の全面的な強化をかちとろう。

⑤ 新安保ガイドライン・有事立法の制定／労基法－労働法制の抜本的改悪／組織的犯罪対策立法制定阻止の闘いを軸に、大失業と戦争の時代に抗し、第三次安保・沖縄闘争の実現をめざして全力で起ちあがろう。

⑥ 全国の労働者－労働組合の危機感と怒りの声を結集し、大失業と戦争の時代に抗する労働運動の新しい潮流－「資本主義にNOと言える労働運動」の本格的な発展をつくりあげるために全力をあげて闘おう。闘う労働組合の全国ネットワークを創りあげるために、１１・８全国労働者集会の成功をかちとろう。

⑦ ＪＲ総連を解体し、より一層の団結強化と組織拡大を実現し、動労千葉結成20周年を、「大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉」の新たな出発の年・飛躍の年としよう。

一九九八年度動労千葉役員

役職名	氏名	年令	職名	支部
執行委員長	中野　洋	五八	運転士	千葉運転区
執行副委員長	布施　宇一	五六	運転士	千葉運転区
書記長	田中　康宏	四二	車両係	津田沼
執行委員	高石　正博	五二	運転士	津田沼
〃	清水　匠	四三	事務係	千葉機関区
〃	川崎　昌浩	三九	車両係	津田沼
〃	白井　敏行	五四	運転士	千葉運転区
〃	滝口　誠	五四	営業係	総武
〃	佐藤　博	四八	車両技術係	木更津
〃	中村　栄一	三八	運転士	千葉運転区
〃	山田　護	四一	車両技術係	幕張
特別執行委員	西森　巌	五八	運転士	千葉運転区
〃	後藤　俊哉	三八	運転士	千葉運転区
〃（青年部長）	関　道利	三五	営業係	総武
会計監査委員	石川　稔	四〇	運転士	新小岩
〃	鈴木　貴雅	三九	運転士	銚子
〃	花崎　薫	三七	運転士	館山

祝電・メッセージ

千葉県労働者福祉協議会／千葉県労金／千葉県本部／千葉全農林労働組合／千葉全国水道電気通信労組／千葉交通労組／千葉鉄道労組／千葉ケーブルテレビ／千葉シティ交通労組／千葉ケーブルテレビ／日本共産党／日本交通観光／日本通信／日本金属機械労組／日本板硝子／日本ソーダ／日本ゴム／日本ビルメンテナンス／日本ペイント／日本製鉄／日本郵政／日本郵政公社／日本郵政公社千葉支部／日本郵政公社千葉地区／日本郵政公社千葉地区／日本郵政公社千葉地区